

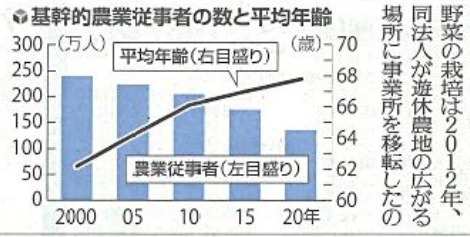
農の未来へ

農業の現場で障害を持つ人が働く「農福連携」が広がっている。遊休農地の活用や人手の確保が課題の農業現場と、就労場所の確保に悩む福祉現場の双方に利点があるとして、政府も積極的に後押ししている。

笑顔

「外で体を動かすのが好きなので楽しいです」。4月下旬、埼玉県深谷市の夕馬ネギ畑で、収穫を前に雑草を抜く作業に汗を流していた雨宮康太さん(25)が笑顔を見せた。

お墨付き



農林水産省は5年ごとに農業従事者の数や平均年齢を調べている。20年の農業従事者のうち、主な仕事を農業とする「基幹的農業従事者」は136万人。15年から2割以上減少した。平均年齢は67・8歳で高齢化も進む。一方、厚生労働省の調査では、国内の障害者人口約964万人のうち、企業や官公庁、障害者就労支援施設などで働いているのは約100万人にとどまる。

原発不正進入15年にも 作業員(父)と2週間暮らす

親のカードを取り出したと。東電は当時、原子炉等規制法に基づく核物質防護規定違反にあたる可能性があるとして、原子力規制庁に

「農福連携」ウィンウィン

障害者の就労 広がる

新戦力



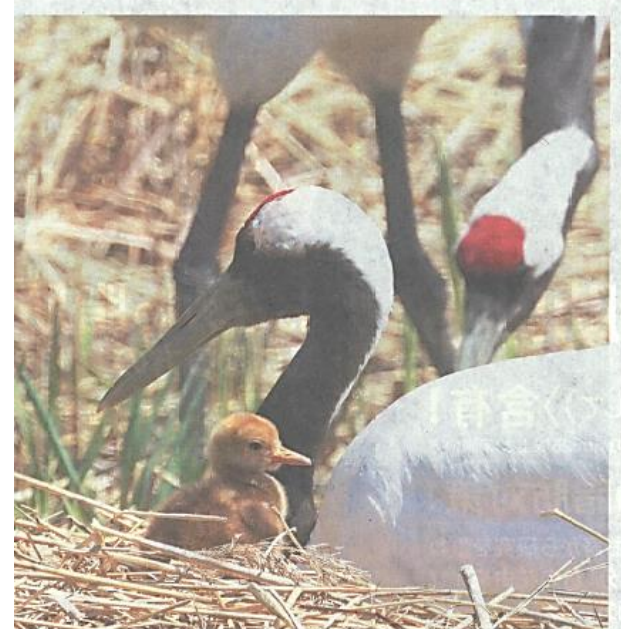
永田さん(中央)と話しながら畑仕事に汗を流す「ノーサイド」の利用者ら(4月下旬、埼玉県深谷市)

一般社団法人「日本農福連携協会」が、全国農業協同組合中央会(JA全中)の3者が包括連携協定を結び、全国的な展開と定着に向けて協力することを確認。東京都杉並区も4月、障害者らが農業訓練を受けられる「農福連携に特化した農園」を23区で初めて開設した。

コロラドで乱射 6人死亡

容疑者自殺 誕生日パーティー襲撃

【ニューヨーク】寺口亮死亡した。このほか容疑者の男がその場で自殺した。スプリングスで9日未明(日本時間同日午後)、トレーラーハウスにいた人々を狙った銃撃事件があり、地元警察によると、6人が



愛の巣 すくすく

町のある十勝地方でも数が増えている。

タンチョウは主に春先に産卵し、枯れ草を集めて作った巣で約1か月、つがいがかが交代で卵を温める。生まれたばかりで薄茶色の産毛に包まれたヒナは、親鳥から与えられるミズを勢いよく食べている。生後約100日で飛べるようになる。